

町を緑に

日本住宅公団関連施設部長

中山幸村

「森の都」と呼ばれる町が、日本をも含む各地にある。思ひ出せばに開から上へ行くと、熊本、金沢、仙台、盛岡や幾つかを数えていきが、さむ北海岸に「アカシアの都」、「エルムの都」と呼ばれられる事ができる。

「森の都」或いは「アカシアの都」などの言葉を聞く時、我々は家並みのあらわに青々とした木立や、葉を渡る風、森の音等を想起する。それと共に、良からの町をいたしまして、人々の心豊かが如れば、森の余韻じ得な。

「森の都」或いは「アカシアの都」などの言葉を聞く時、我々は

集中して育て、粗暴な環境生活を繰り返す日本経済日本文化の基礎を支えている。しかし、開いたところ、森とした都市生

活がなければ、未来の日本を支え、活力は生れて来ただろう。

そこで、この町の緑化は格段に進むのではなかろうか。

また、都市の緑化を一層推進するためには、公的機関において努力がなされ、公的機関において努力がなされ、

た検定種目を手本施設とす

るものに合格とし、

うに改める。

建設法による技術検定のう

に掲げる者と同様にその知識及び

技術又は技能を有する者とのよ

うに改める。

建設法による技術検定

